

876万円

令和8年3月4日から19日まで第1回定例会を開催しました。令和8年度予算など審議しました。一般会計予算は、前年度と比較すると、4.9%の増額です。

町長 施政方針

現状維持は後退である。



対話を重視する姿勢で町民のみなさまとともに考え、ともに作り上げる町づくりを力強く押し進めてまいります。

第5次総合計画の更なる推進（3本の柱）

1. 強靱な行政経営基盤の確立と歳入強化
デジタル化によって業務の効率化を図り、そこで創出された職員の労力と時間を、町民のみなさまとの対話や政策立案、知識や能力を向上させる研修などにつなげ、住民サービスの向上につなげます。

ふるさと納税、基金の活用、町税の確実な徴収など自主財源確保を徹底します。

2. 未来への投資であることもまんなか社会の推進

子どもたちは未来社会の担い手です。8年度は、小学校給食の無償化、広川中体育館・武道場への空調整備など教育環境の向上を図ります。

3. 安全・共生社会の構築

更なる治水対策の実現、地域コミュニティの基盤強化・活動支援事業の構築に努めます。

光益 良洋 議長



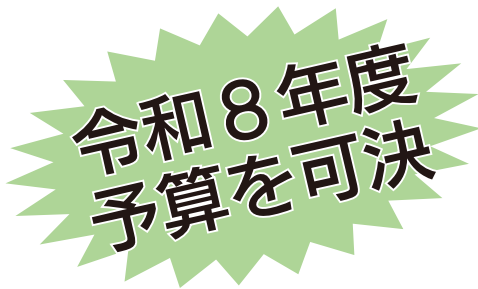
氷室 健太郎 町長



議会からの提言

議会は、予算執行に当たり16項目の附帯決議を町長に提出しました。主な附帯決議は次のとおりです。予算執行状況を厳しくチェックして参ります。

- 1 デジタル技術等の活用により、住民の利便性向上と業務の効率化を図られたい。
- 2 自然災害に強いまちづくりを推進されたい。
- 3 計画的な財政運営に努めるとともに、持続可能な財政基盤の構築に努められたい。
- 4 行政区や地域コミュニティのあり方については、財政面を含め今後の方針を示されたい。
- 5 こどもまんなかアクションプランの効果的な実行に努められたい。
- 6 国保被保険者の健康意識を高め、医療費の縮減に努められたい。
- 7 広川ダムの計画された機能強化については、確実な事業推進に努められたい。
- 8 水道料金の抑制策を検討されたい。
- 9 水道設備の老朽化を点検し、対応・対策に努められたい。
- 10 下水道供用区域内未加入者の加入促進に努められたい。
- 11 下水道工事後の継続的な点検・管理に努められたい。



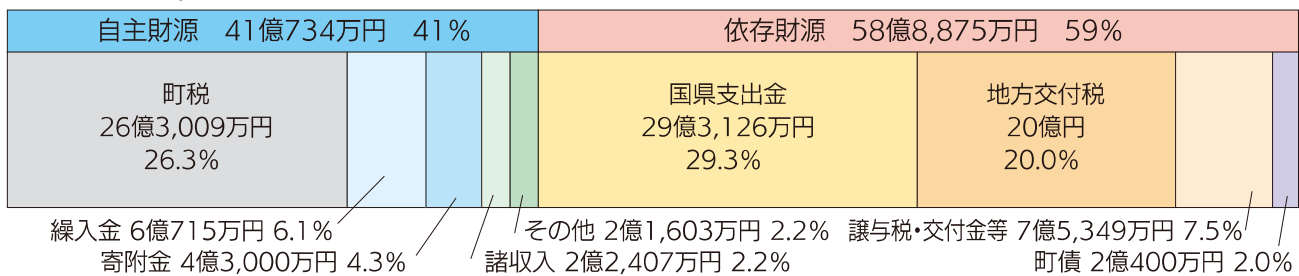
総額137億3,

一般会計予算

歳入は

■自主財源は41%
町税などの自主財源は約41%です。残りの59%は、国や県からの交付金に頼っています。

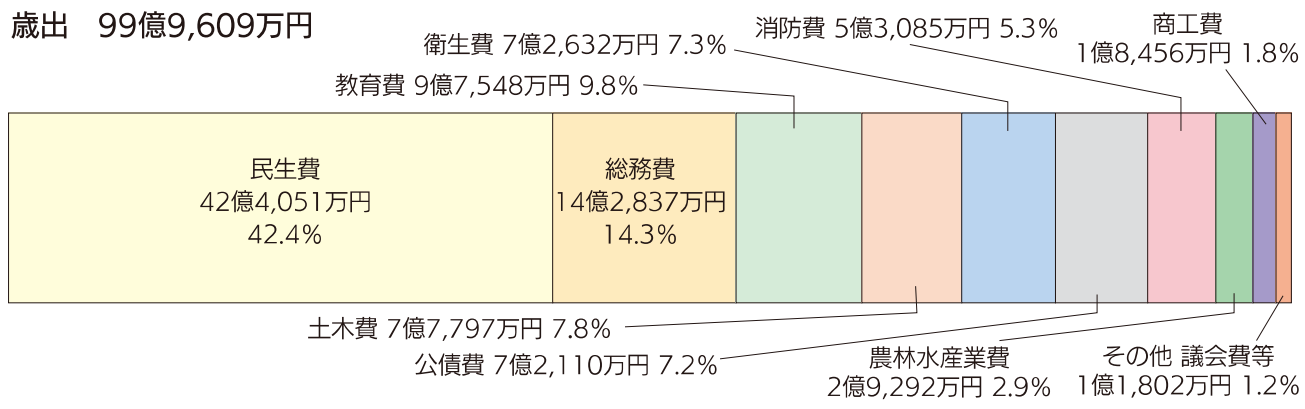
歳入 99億9,609万円



歳出は

■予算の4割超が福祉関連
歳出の42.4%を占める民生費は、物価高騰対策として1人1万円の商品券を配布等を行います。また、介護・医療・扶助費などの増大が今後も見込まれます。

歳出 99億9,609万円



■町の予算総額が1万円だったら

歳入 (どこから入る?)
「町税」から 2,631円
「国・県」から 2,932円
「地方交付税」が 2,000円

歳出 (何に使う?)
「福祉」に 4,242円
「学校や教育」に 976円
「道路や公園の整備」に 778円
「職員の人件費」に 1,429円



特別会計予算

国民健康保険特別会計	21億9,024万円
後期高齢者医療特別会計	4億1,492万円
広川防災ダム管理特別会計	3,711万円
広川町水道事業会計	3億7,785万円
広川町下水道事業会計	7億2,255万円